

また、新プラン策定の参考とするため、県が力を入れるべき取組等に関する意見募集を行った結果、意見の中で上位を占めているのは、仕事や結婚・出産・子育てに関する項目であった。

### 新プランの策定に関する意見（上位3項目）

	項目	主な意見・提案
1位	若者に魅力的な働く場の確保 (30件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若者が秋田に残って働きたいと思う業種や働く場所がとても少なく、それが若者離れの大きな原因だと感じる。(女性/30歳代)</li> <li>○ コロナ禍により企業が分散しているので、これを機に秋田にも誘致できればいい。(女性/30歳代)</li> <li>○ 秋田はまだまだ年功序列型の古い体質が残っていると感じる。どんな職種でもフラットな交流ができればいい。(男性/20歳代)</li> </ul>
2位	県内企業の賃金水準の向上 (29件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内企業の強化、大企業の誘致に力を入れて高質な雇用を生み出し、豊かな経済面と秋田で暮らすことの両立をできるようにしてほしい。(男性/30歳代)</li> <li>○ 若者等が地元に着定するためには地元企業の賃金水準の向上が一番必要。(男性/60歳代)</li> <li>○ 都内在住でAターンを考えていたが、業種の少なさ、求人少なさ、給料の低さがあまりにも大きく、断念している。(男性/20歳代)</li> </ul>
3位	結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備 (25件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若者世代が減っており、出生率も大幅に減少している今だからこそ、結婚・出産に対する手厚い支援をしてほしい。(女性/20歳代)</li> <li>○ 出産後のケア、育児ノイローゼを少しでも軽減できるよう、保育施設の拡充や、気軽に相談できるような支援体制の充実が必要。(女性/20歳代)</li> </ul>
参考	回答者数：81人 【年齢構成】18歳未満 2人（2.5%）      18～19歳 2人（2.5%）      20歳代 35人（43.2%） 30歳代 21人（25.9%）      40歳代 13人（16.0%）      50歳代 4人（4.9%） 60歳代 2人（2.5%）      70歳以上 1人（1.2%）      無回答 1人（1.2%） 意見数：268件	

#### 4. 秋田の目指す将来の姿

県が目指しているのは、「高質な田舎」の実現である。高質な田舎を実現するためには、まずは最重要課題である人口減少問題を克服し、将来にわたって持続的に発展していく必要がある。

県は、「概ね10年後の姿」として、

- 個性が尊重され一人ひとりが活躍する姿
- 産業競争力が強化され交流が活発な姿
- 安全・安心が確保されている姿

を描いていて、その実現に向けた4年後の秋田の姿を表す定性的な目標として、「四つの元気」を創造するとしている。

新プランの構成の図表にもある「四つの元気」は以下のとおりである。

- 強靱化…しなやかな強さがある秋田
- 持続可能性…将来にわたり安心して暮らせる秋田
- 存在感…日本の成長に貢献する秋田
- 多様性…誰もが生き生きと活躍できる秋田

県は、目指すべき将来人口としては、秋田県人口ビジョン（2022年3月改訂）において、2040年に「国民の希望出生率1.8」と「2040年以降の転入・転出の均衡」等を仮定値として設定し推計した人口である、「2065年：約51万人」としている。

新プランは、上記の「目指すべき将来人口」を実現するための“新たな一歩”であり、若年女性の県内定着の促進など、あらゆる施策を総動員しながら、社会減・自然減の抑制に向けた4年間の歩みを着実に進めていくこととしている。

## 第4 監査対象とした重点戦略

### 1. 監査対象の抽出プロセス

新プランでは、以下の6つの重点戦略を掲げ、取組を推進している。

- 戦略1 産業・雇用戦略
- 戦略2 農林水産戦略
- 戦略3 観光・交流戦略
- 戦略4 未来創造・地域社会戦略
- 戦略5 健康・医療・福祉戦略
- 戦略6 教育・人づくり戦略

今回の監査では、秋田県の人口減少問題をテーマに取り上げているため、上記の戦略のうち人口減少対策を担っている、あきた未来創造部所管の戦略である「戦略4 未来創造・地域社会戦略」及び「戦略6 教育・人づくり戦略」に焦点を当てて監査を実施した。

### 2. 対象とした戦略の概要

#### (ア) 戦略4 未来創造・地域社会戦略について

戦略4のねらいは、社会減と自然減の抑制に向けた取組を加速するとともに、県民誰もが将来にわたって生き生きと暮らせる社会をつくることにある。

戦略4が目指す“4年後”の姿として、県は6つの「目指す姿」を掲げているが、その中で監査の対象とした目指す姿と、その施策の方向性は、次のとおりである。

### 【目指す姿1 新たな人の流れの創出】

若者等の活気あふれる秋田の実現につながる新たな人の流れの創出を目指す。

#### <施策の方向性>

- 4-1-1 首都圏等からの移住の促進（監査対象）
- 4-1-2 人材誘致の推進と関係人口の拡大（監査対象）
- 4-1-3 若者の県内定着・回帰の促進（監査対象）

### 【目指す姿2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現】

結婚・出産・子育てに関する不安が解消され、結婚し、子どもを持ちたいと願う全ての県民が安心して出産・子育てできる社会の実現を目指す。

#### <施策の方向性>

- 4-2-1 結婚・出産・子育てを前向きに捉える気運の醸成
- 4-2-2 出会い・結婚への支援
- 4-2-3 安心して出産できる環境づくり
- 4-2-4 安心して子育てできる体制の充実（監査対象）

### 【目指す姿3 女性・若者が活躍できる社会の実現】

女性や若者が、様々な分野において、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指す。

#### <施策の方向性>

- 4-3-1 男女共同参画の推進
- 4-3-2 あらゆる分野における女性の活躍の推進（監査対象）
- 4-3-3 若者のチャレンジへの支援

## (イ) 戦略6 教育・人づくり戦略について

戦略6のねらいは、県教育の基本である「ふるさと教育」を一層推進しながら、心豊かで郷土愛に満ち、高い志と公共の精神を持って未来を力強く切り拓く人づくりに取り組むことにある。

戦略6が目指す“4年後の姿”として、県は6つの「目指す姿」を掲げている。人口減少問題の解決という観点から、あきた未来創造部が取り組んでいる中で、監査の対象とした目指す姿及びその施策の方向性は、次のとおりである。

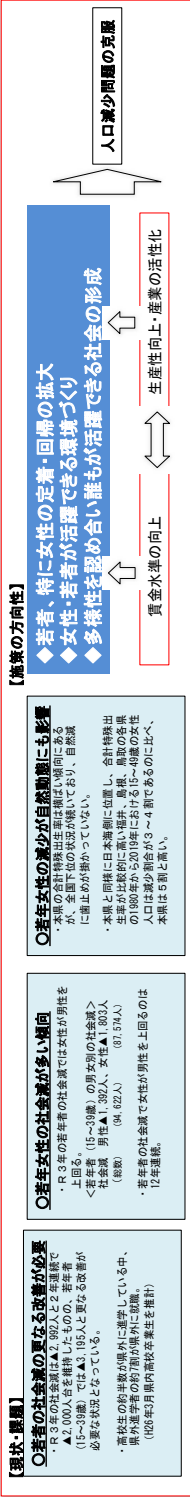
**【目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化】**

高等教育機関が、地域ニーズを踏まえた教育・研究や社会貢献活動を通じて、地域社会の課題の解決や持続的な発展に貢献するとともに、輩出した多数の優秀な人材があらゆる分野で活躍することを目指す。

**<施策の方向性>**

- 6-5-1 多様な資源を活用した教育・研究・社会貢献活動の促進（監査対象）
- 6-5-2 次代を担う学生の確保と人材育成への支援（監査対象）

# 令和4年度 あきた未来創造部 主要施策の概要



## 【新秋田元気創造プランにおける主な取組】

### 戦略4 未来創造・地域社会

#### ◆ 新たな女性の流れの創出

- (1) 首都圏等からの移住の促進 (186,707千円)
- 秋田暮らしの魅力強化や移住相談対応の充実
    - ・A1を活用したオンライン移住相談の実施
    - ・VRコンテンツによる秋田暮らし体験の機会提供
  - 〇Aターン就職の促進
    - ・Aターンフェアの開催等による県内企業とのマッチング機会の提供
    - ・移住支援金等による経済的支援

#### ◆ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

- (1) 結婚・出産・子育てを前向きに捉える気運の醸成 (89,488千円)
- 若者の結婚・子育てに対する意識の啓発
    - ・大学向けのライフプランニング講座の開催
    - ・若年向け意識醸成リーフレットの作成・配布
    - ・結婚・子育て応援キャンペーンの実施
  - 〇児童生徒に対するライフプランを考える機会の提供
- 女性・若者が活躍できる社会の実現
- (1) 男女共同参画の推進 (39,609千円)
- 〇地域社会における女性の拡大
  - 〇男女共同参画センターの運営(県内3地区)

#### ◆ 変革する時代に対応した地域社会の構築

- (1) 優しさと多様性に満ちた秋田づくり (30,906千円)
- 差別の撤消に向けた啓発と相談体制の構築
    - ・広範啓発の実施、相談窓口の設置
    - ・性的指向・性自認に関する理解の促進
  - 秋田県SDGsパートナー登録制度の更なる普及等

### 戦略6 教育・人づくり

#### ◆ 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

- (1) 多様な資源を活用した教育・研究・社会貢献活動の促進 (7,871,942千円)
- デジタル技術等の進歩やグローバル化に対応した教育研究活動への支援
    - ・秋田県立大学、国際教養大学への運営に資する経費の交付
    - ・秋田県立大学アカデミック・イノベーション教育研究センターの創設、人材育成・施設整備等に対する助成
    - ・次代若手学生確保と人材育成への支援 (280,702千円)
  - 〇県内産業の国際力となる人材育成への支援

- (2) 人材誘致の推進と関係人口の拡大 (86,837千円)
- リモートワークやワーケーションに取組む首都圏企業等へのプロモーションの強化
    - ・ワーケーションモデルツアーの実施、インフルエンサーによる情報発信
  - 〇地域を支える関係人口の創出・拡大
    - ・首都圏等在住者による関係人口の創出に向けた取組への支援

#### ◆ 出会い・結婚への支援 (27,700千円)

- (2) 出会い・結婚への支援 (27,700千円)
- 独身のニーズに対応した出会いの機会の創出
    - ・共通の趣味を持つ若者等が集まる出逢いイベントの開催
  - 〇あきた結婚支援センターによるA1等を活用したマッチングへの支援

#### ◆ あらゆる分野における女性の活躍の推進 (109,957千円)

- (2) 女性活躍をリードする官民ネットワークの構築 (109,957千円)
- 官民一体によるラウンドテーブルの開催
    - ・経営者等の理解促進、好事例の集約
    - ・女性人材のキャリアバンク構築、登録者等による連携会議の開催
  - 若年女性に魅力ある職場づくりの加速化(再掲)

#### ◆ 地域住民が主体となった地域コミュニティづくり (26,277千円)

- (2) 地域住民が主体となった地域コミュニティづくり (26,277千円)
- コミュニティ生活圏の持続的な展開に向けた地域運営組織の形成への支援
    - ・地域づくり支援アドバイザーの派遣
    - ・地域運営組織によるモデル的な取組を支援
  - 〇「元気ムラ」活動の全県域への展開

### 基本政策2 生活環境

#### ◆ 快適で暮らしやすい生活の実現

- (1) 空き家対策の推進 (13,459千円)
- 空き家総合サポートセンター(仮称)の設置に向けた体制整備
    - ・市町村や関係団体と連携したワンストップ相談体制の検討や空き家相談会の実施
    - ・市町村空き家バンクを統合した「秋田県版空き家バンク」の検討

- (3) 若者の県内定着・回帰の促進 (457,850千円)
- 大学生等の県内就職支援
    - ・就職情報サイトVTSNS等を活用した県内就職情報の提供
    - ・県内定着のインテリゲンシブ情報を提供するオンラインセミナーの開催
  - 〇県内就職者等への経済的支援
    - 若年女性に魅力ある職場づくりの加速化
      - ・女性活躍推進に取り組む企業に対する支援
      - ・えるほし認定を目指す企業に対する支援金の交付

#### ◆ 安心して子育てできる体制の充実 (1,890,791千円)

- (3) 安心して子育てできる体制の充実 (1,890,791千円)
- 子育て支援団体のネットワーク化による地域全体の支援力向上
  - 〇仕事と子育てを両立しながら働き続けられる環境づくりの推進
  - 〇子育て世帯の経済的負担の軽減

#### ◆ 若者のチャレンジへの支援 (55,062千円)

- (3) 若者のチャレンジへの支援 (55,062千円)
- 〇高校生等が主体的に地域と関わる取組への支援
  - 〇若者の自発的な活動を促進するための環境整備
  - 〇夢の実現を目指す若者の戦略的な取組への支援

#### ◆ 多様な主体による協働の推進 (48,936千円)

- (3) 多様な主体による協働の推進 (48,936千円)
- 多様化する地域課題の解決に向けた県民提案型による協働の実践モデルの創出
    - 市民活動への理解や参加の促進に向けた情報発信の強化

### 地域振興局の取組

- (1) 各地域振興局による地域施策の推進(58,500千円)
- 各地域振興局が地域の課題を踏まえ、地域住民等と協働し、新プラン推進に向けた取組を主体的に実施